

種名	<u>ミ ズ カ マ キ リ</u> <u>Ranatra chinensis</u> 
分類	カメムシ目タイコウチ科
形態的な特徴	細長い棒状の体型をしている。前脚はカマキリのような鎌状になっている。呼吸管は二本の鞘状のものが合わさった形をしていて、先端が二つに分かれている。卵は白くて細長く先端に二本の棘のようなものがついている。
分布	北海道、本州、四国、九州に分布する。
繁殖行動	5～7月頃になると交尾をした雌が陸上の湿った苔などに卵を産みつける。卵は10日ほどで孵化し、幼虫はすぐに水に入って成虫と同じように生活をする。9月頃までに5回ほど脱皮を繰り返して成虫になる。冬になると水底の落葉などの物陰で越冬する。
生息場所	水田や池沼で普通にみられるが、タイコウチに比べてやや水深の深いところを好む傾向がある。
食性	小さな昆虫などを含めた小動物と水草などを食性とする。
生息環境への配慮事項	餌となる昆虫や水草などが生息に必要である。そのため、ため池と水田のような環境と生活サイクルの中で行き来しているため、それらを含めた総合的な環境を保全する必要がある。
その他	
引用文献： http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変	